

# 学校経営の概要

## 1. 教育理念

人権尊重を基盤とした個性性と同僚性が調和された協働型の学校経営

- コミュニティ・スクールへの移行により、地域とともに歩む学校づくりの推進を図ること  
で、生きる力（確かな学力、豊かな心、健やかな体）を育む。
- 市統合中学校に向け、他校の児童と交流することで、人間関係づくりを学ぶ。

## 2. 学校教育目標

### 「いきいき あななっ子」

ー未来の穴内を背負って立つ人材の育成 自立・貢献・共生ー

自立・・・自ら学び、主体的に行動できる児童

貢献・・・友達や家族、穴内や地域等のために進んで活動でき、それらを自分の生きがいや喜びと感じられる児童

共生・・・個性や違いを理解し、仲良く学校生活や社会生活ができる、グローバルな感覚を持った児童

#### 児童の将来像

◎ 郷土を愛し、夢を抱き、高い志を掲げ、自分の力で未来を切り開いていける人材  
めざす子ども像

確かな学力と、豊かな人間性を兼ね備え、たくましく生きる児童

- ・自分や仲間、他者を大切にする児童
- ・広い視野を持ち、正しく判断し行動できる児童
- ・より高い目標を設定し、粘り強く取り組む児童
- ・郷土を愛し、豊かな感性を持つ児童

## 3. 本年度の具体的な教育目標

- (1) 相手の話をよく聞き、ひとり学び・学びあいのできる児童を育て、学びの定着を図る。
- (2) 自分の考えをわかりやすく相手に伝えることができる児童を育てる。
- (3) 元気にあいさつができる児童を育てる。
- (4) 生活改善に努め、家庭学習に取り組めるようになる児童を育てる。
- (5) 人を大切にし、力を合わせて助け合える児童を育てる。
- (6) ふるさと（穴内）に関心を持てる児童を育てる。
- (7) 農業体験学習を推進するなど、キャリア教育の充実を図る。

## 4. 目標設定の理由

- (1) ひとり学び・とも学びを充実させ、学びを広げるためには、基本的な課題（読む・聞く→読み取る・聞き取る→考える→自分の考えを述べる→論述する）の改善が必要となる。
- (2) 授業や集会において、自分の言葉で表現することが苦手な児童が多い。
- (3) コミュニケーションづくりの基本である元気なあいさつに心がけ、進んで人と関わるとする態度を育成することが大切である。
- (4) 基本的生活習慣を身につけることは、「知・徳・体」の基礎となることから、生活調べ等を通して、意識改善に努める必要がある。
- (5) 食農体験や縦割り班掃除等、集団体験において、自分の役割や他者の立場を理解し、協力して物事を進めることが大切となる。

## 5. 具体的な取り組み

- (1) 主体的・対話的で深い学びが生まれる授業を目指した研修の推進
- (2) 生活改善に努め、家族関係の再構築と、家庭学習の取り組み
- (3) 正しい判断力や豊かな心情を育てる道徳教育の推進
- (4) 人権尊重と平等の精神に基づく、人権教育の推進
- (5) 基本的生活習慣の確立をめざす指導の推進
- (6) 保健・安全教育の推進
- (7) 地域との連携・学校評価の実施